

卒論ゼミ2022年 4月第一回 良い研究とは何か

立教大学社会学部 村瀬洋一

論文を1つの研究として完成させるために、自分が何をすべきなのかよく考えること。時間の使い方の計画を立てる。卒論締め切りは12月18日頃。詳しくはシラバス参照。

1. 新学期にまずやること

- ・論文完成までの計画を立てる。
 - ★立教時間の旗のボタン →目標設定。このゼミで自分をどう鍛えたいのか、自分なりの目標を書く。
- ・テーマ決定のために文献を探す →良い文献を読むことが大切。
 - 一般書でなく、学術書や学術論文を読む。学会が出している雑誌を手にする。
 - ★文献リストを作成し、ブラックボード掲示板に書き込む。4/19まで。

2. 良い研究とは何か

卒業論文は、単に、お勉強の結果をまとめるのではなく、1つの研究の成果として、独自の発見を得ることが大切。研究とは、新しい知見の発見が重要。

卒業論文も論文である。結論として発見があることが大切。有効な研究をするためには、まず、問が明確であることが必要。研究上の問(Research Question)とは何か。

冒頭部で、明確な目的や仮説を書いていないと分かりにくい。が、○○について検討したい、くらいしか書いていない論文が多い。具体的な問が何か、読み手に伝わらない。

研究の有効性とは何か。また、尺度の妥当性、信頼性とは何か、よく理解すること。

3. 適切な構成 4つの構成を忘れずに

目的、方法、結果、結論。

冒頭で、○○を解明する、とはっきり書く。○○を検討したい、など、目的が不明確な文章が多いので注意する。

結論部が1ページしかないような卒論は不可。結論として何を発見したのかが大切。

結論とは、分析結果のまとめではない。分析結果(事実)を元に、自分が主張したいこと(意見)を書く。強気で自分の主張について大口をたたくことが大切。自由に楽しく、結果の解釈を考える。

社会の特徴や、社会の変化と関連づけて解釈するとなお良い。例えば、最近の社会の変化や、個人主義化、情報化、国際化と関連させつつ、結果の解釈を書く。

4. 卒論ゼミでまずやること

テーマを決めるための作業、文献検索

文献要約を書く→ゼミで発表と討論。他人と話すことは重要。

今後の計画を立てる。いつまでに仮説を完成させ、調査や分析を始めるか。

★文献検索を、ネットですませてはいけない。ネットだと、数ページだけの学会要旨集など簡単なものが出る。本格的な論文はネット上に少ない。

本文中では、少なくとも学術論文10本以上は引用すること。これまでの研究の流れについて、自分なりに整理してまとめることが重要。

★分析について

何らかのデータを集める、データアーカイブから取り寄せる。

変数について。必ず、シンタックスで新変数を作る。

自分がどんなものを作ったか後で分かる。ミスもチェックできる。

5. テーマが決まったらやること

表紙と目次を作る

問を立てる

先行研究をまとめる

→構想発表会 6月後半のゼミ合宿予定。1泊2日。

調査実施や分析の計画を立てる

★結論として自分が何を言いたいのか、よく考える

11月初めに仮提出

独自の新しい発見とは何か、明確にする。

具体的な目的や仮説は

仮説とは因果関係

独自データがあるか。ネット調査の分析は良くない。

文献リストが少ないものは失格、学術論文を読む

参考 卒論評価基準

学術研究の成果として、新しい知見の発見があること。論文としての内容、とくに結論部として発見したことの内容が豊富であること。

目的と分析内容と結論部に一貫性があること。仮説が明確で、分析や結論とつながっていること。

先行研究を幅広く把握していること。最後の文献リストに学術雑誌の論文がなく、web

アドレスを除くと実質的に文献リスト1ページ以下等の論文は、視野が狭すぎて不適切。結論部が1ページもなく、インタビュー人数がごく少ないような論文も視野が狭すぎる。

6. 日程予定（春学期14回、秋学期14回）

日程	回	内容
0414	1	卒論経過報告 春休みの成果 ★課題 各自の研究テーマと仮説、文献リストを ブラックボード掲示板で提出 4/19締切
0421	2	学术论文の発表
0428	3	社会調査演習2.5 コウディング ***** 連休中 *****
0512	4	学术论文の発表
0519	5	社会調査演習2.1 系統抽出法
0526	6	社会調査演習2.2 確率比例抽出法 ★ゲストスピーカー企画
0602	7	社会調査演習2.3 統計的検定
0609	8	学术论文の発表
0616	9	学术论文の発表
0623	10	社会調査演習2.4 クロス集計 ★ゼミ合宿 卒論構想発表会
0630	11	分析実習
0707	12	各自の仮説と分析計画
0714	13	各自の仮説と分析計画 ***** 試験期間 *****
0803	14	卒論中間発表会

秋学期は各自の分析途中経過や、分析結果をもとにした討論を行う。

来週以降、論文要約の発表、その後テキスト2.5

各自が卒論経過報告を口頭ですること。学生同士の発表と討論を重視する。